

三重の 生きもの大より

第24号



海や川、近くの池で多くのカモ達が見られる季節になりました。主にシベリア方面で繁殖し、越冬のため日本各地に渡ってきます。カモは古くから昔話やことわざにも登場し、私たち日本人にとって、最も身近な野鳥のひとつです。

そんなカモ達の仲間にキンクロハジロがいます。マガモやホシハジロ等に比べると少し小柄で、名前のとおり目は金色で、体は黒と白に分かれています。特徴のある寝ぐせのような頭ですまして泳いでいる様子はおかしくてつい笑ってしまいます。

昼間は背中に頭を突っこんで休んでいることが多いカモ達ですが、目だけは絶えず開けて外敵に注意しています。何千キロもの距離を旅してカモ達が渡来してきた頃、日本は狩猟期に入り、おちおち寝てもおれないといったところではないでしょうか。

皆さんも、暖かくしてカモウォッチングに出掛けてみませんか。新しい感動に出会えるカモ。